

社会人のための情報システム誌  
— 経営近代化のシステム研究 —

# Computer Report 1

2017 No.748

## 3 はじめの言葉

### 4 経済からパソコンまで

素人には解りにくいプロの常識

田原文夫

金利政策だけで景気調整をしようとするのが、そもそも間違いではないのか。改めて確信できる気がするの、黒田日銀総裁の GDP 成長率 2%アップ目標である。金利ゼロでもダメ、マイナスにしても、なおダメ。金融のプロかも知れないが、経済のプロではないことを自ら証明したかの如くである。パソコンの常識でも然り。一部のマニアしか通用しない常識がまかり通っている。素人の目の重要性を思う。

## 10 情報社会を考える その76

情報社会作り、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

共同体作りと崩壊

「世界の枠組みを理解しよう、その上での最適化を考えよう」という論理に真正面から反対することはできない。アメリカが中心になって提唱された環太平洋パートナーシップ協定 TPP 交渉についても、考え方の底流にあるものは同じである。環太平洋すなわち太平洋を取り巻く各国で経済共同体を構築しようというものであり、加盟各国間の最適な経済協定を目指そうというものである。周知のとおりである。言ってみれば、EU 欧州共同体も同じ考え方であり、ヨーロッパ地域経済共同体だが、TPP は EU ほどの密な共同体ではないが、環太平洋地域の経済取引上の共同体を目指そうというものである。

## 12 オープンガバメント OG 37

情報社会をすすめる

その71

水田 浩

1990 年代に紙によるワークフローをデジタルにして、メインフレームと端末を使って事務系、技術系で個別に行われるようになり、1995 年代にはインターネットが世界中で使えるようになってきた。そして、個別に開発されたシステムをより早く、より安く、より良くつかうために製品やシステムのライフサイクル全体の統合化を模索するようになっていた。そして、産業別、国別のシステムとデータを世界共通にしてより生産性の高いビジネスをするために、世界共通の情報基盤を作らなければならないという認識が世界中で起こっていた。そこで、CALS の一つの製品、システム、サービスを全ライフサイクルで、「情報は一度つくって、幾度も使う」という運動は世界規模で受け入れられた。一つの CALS という概念(言葉)で 1995 年から 2005 年に掛けて世界中が一つになって運動を起こすようになった。

## 1 8 連載 アーキテクチャ論 (69)

### FABACE-形式手法と保証ケースの融合手法

山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

連載 68 回で Open Dependability Through Assuredness (O-DA) 標準の最新動向を解説した。本稿では、前回触れていなかった保証ケースと形式手法の融合手法である形式的アーキテクチャ指向保証ケース作成手法 FABACE(Formal Architecture Based Assurance Case Engineering)について紹介する。

## 2 8 新春放談 波乱を予感させる世界を騒がせている出来事 黒坂欣司

〔まえがき〕毎年、年の瀬が迫ると、この原稿を書かせていただく。1 年をゆっくり振り返る機会を頂き、筆者自身も大いに楽しませていただいている。昨年も世界を揺るがす大きな事件や出来事があった。海外ではイギリスの EU 離脱、パリを始めとする各地でのテロ事件、そしてアメリカの次期トランプ大統領。国内では 41 個もの金メダルを獲得したリオオリンピック、小池百合子都知事誕生などなど書きたいことは山ほどだが、筆者の独断で気になったニュースを取り上げてみた。

## 3 4 連載 日本再生と人材育成

### 人口減少／少子高齢化時代への挑戦 その 2 4

#### 人材フル発揮のための就職/転職のステップとポイント

Dr.ベスト

日本の人口減少/少子高齢化時代の原点にもどると、この先一人ひとは極めて貴重な人材(人財)であり、その意思と能力をいかにフル発揮できる仕事に就き、その活動を通して最大限の成果が得られるような働く仕組みを準備・提供していくのが喫緊の課題であるといえよう。人口減少/少子高齢化時代において最も重要なことは、数少ない人材のほとんど全員が自分の意思と能力にマッチした仕事に就き、その意思と能力がフルに発揮されるような状態が実現できることである。

## 4 2 IT 新時代とパラダイム・シフト

### 第 8 6 回 パクリ量産のキュレーションサイトと

#### クラウドソーシングの歪んだ構造

根本忠明

ネットの情報収集で重宝され急成長してきたキュレーションサイトが転機に立たされている。DeNA 社の WELQ を筆頭に、大手キュレーションサイトまでが次々に閉鎖に追い込まれている。信頼性の低い悪質なパクリ記事の大量生産が、社会問題化したからである。このキュレーションサイトの成長に賭けた DeNA ビジネスとそれを下支えしたクラウドソーシングに焦点をあて、この業界の歪んだ構造を明らかにしたい。

## 4 5 続インテリジェンスへのいざない 84

### 常識の範囲と大衆の意思決定の論理

今井 武

ポピュリズム=大衆迎合主義の功罪とは、昔から言われてきたことである。しかし、これを極端に否定してしまうことは、民主主義の根幹にかかわって来る危険がある。一人一票の重さは、何人も否定してはならない大原則である。然るに今、世界中が投票結果に揺れている。

## 4 8 連載 四字熟語カトレーニング

すぎやまチヒロ

## セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における  
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで  
株式会社 日本経営科学研究所  
ComputerReport編集部

[cr-info@jmsi.co.jp](mailto:cr-info@jmsi.co.jp)

# CR 選書のご案内

**CR選書**

**改訂版**  
**データ・ウェアハウス**

定価 本体 2,816円＋税 送料(〒300)  
A5版 289頁

石井 義興 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの構造と	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネステッド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正規化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**実践データ・ウェアハウス**  
**OLAP**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**消費者行動論**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 181頁

田原文夫 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

aism 研究活動報告  
**インターネットセキュリティの**  
**落とし穴**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修  
aism情報セキュリティ・マシントリニティ研究会 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリニティ研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 匿名化された電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛準備心得
第五章 aismの2006年度の事業計画	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報漏洩対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2007年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

エンタープライズ情報システム設計の基本書！  
**トップ主導の**  
**情報システム革新**

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 271頁

高田 顯重 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**計量モデルの構造と解法**  
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円＋税 送料(〒300)  
A4版 213頁

安田 聖 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

**CR選書**

**『いざ！というときの(得)広報』**  
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円＋税 送料(〒300)  
A5版 228頁

加藤 洋一 著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向選定	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 監修とうまく付き合う16の鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)

---

**ザ・ワールドリンク**  
がんばれ、国際グローバルサーバー—  
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円＋税 送料(〒300)  
A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著  
(株) 日本経営科学研究所 発行

**目次**

第一章 発端	第十一章 日本開港手帳の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米園チーム解散の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米園事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開港手帳とハンタツ
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本音最後の日本
第八章 米園チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 最後の二、三回、最後の苦しみ
第十章 米園チーム、勝つ三人組	第二十章 最後の二、三回、最後の苦しみ

お申し込み/お問い合わせは [cr-sale@jmsi.co.jp](mailto:cr-sale@jmsi.co.jp)